

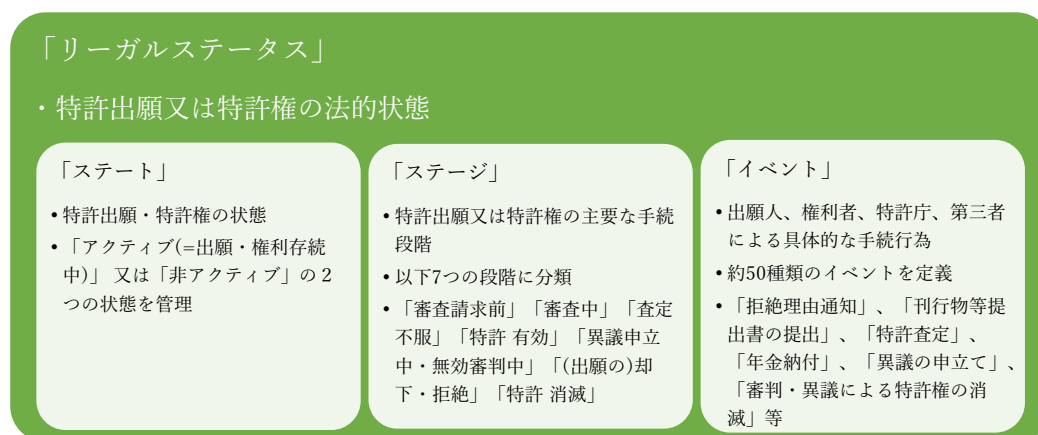
J-PlatPat リーガルステータス機能について

■機能概要

特許出願や特許権のリーガルステータスを、J-PlatPat で表示、検索、及び CSV 出力する機能です。

■リーガルステータスとは

「リーガルステータス」とは、特許出願又は特許権の法的状態（権利の存続／消滅等）を意味します。J-PlatPat で提供するリーガルステータス(世界知的所有権機関(WIPO)の標準 ST.27 に準拠)は、次の様に「ステート」、「ステージ」、「イベント」を定義しています。



イベントとステージの詳細は、後述致します。

■リーガルステータス絞り込み検索機能

特許・実用新案検索において、検索オプションにて「ステータス検索」「ステージ検索」を指定すると、得られた検索結果に対して指定した条件による更なる絞り込み検索をすることができます。

なお、リーガルステータスによる絞り込み前の検索結果が 3000 件を超えた場合は、上記絞り込み検索は実行できません。

検索オプション 閉じる

主テーマ 副テーマ 最大9個までカンマ区切りで指定できます。

日付指定

西暦または和暦を指定します。

公知日/発行日 ~

[追加](#)

登録案件検索 ?

☐ 登録日ありで絞り込む

ステータス検索

☐ 出願・権利存続中案件で絞り込む

ステージ検索

■リーガルステータスのイベント一覧

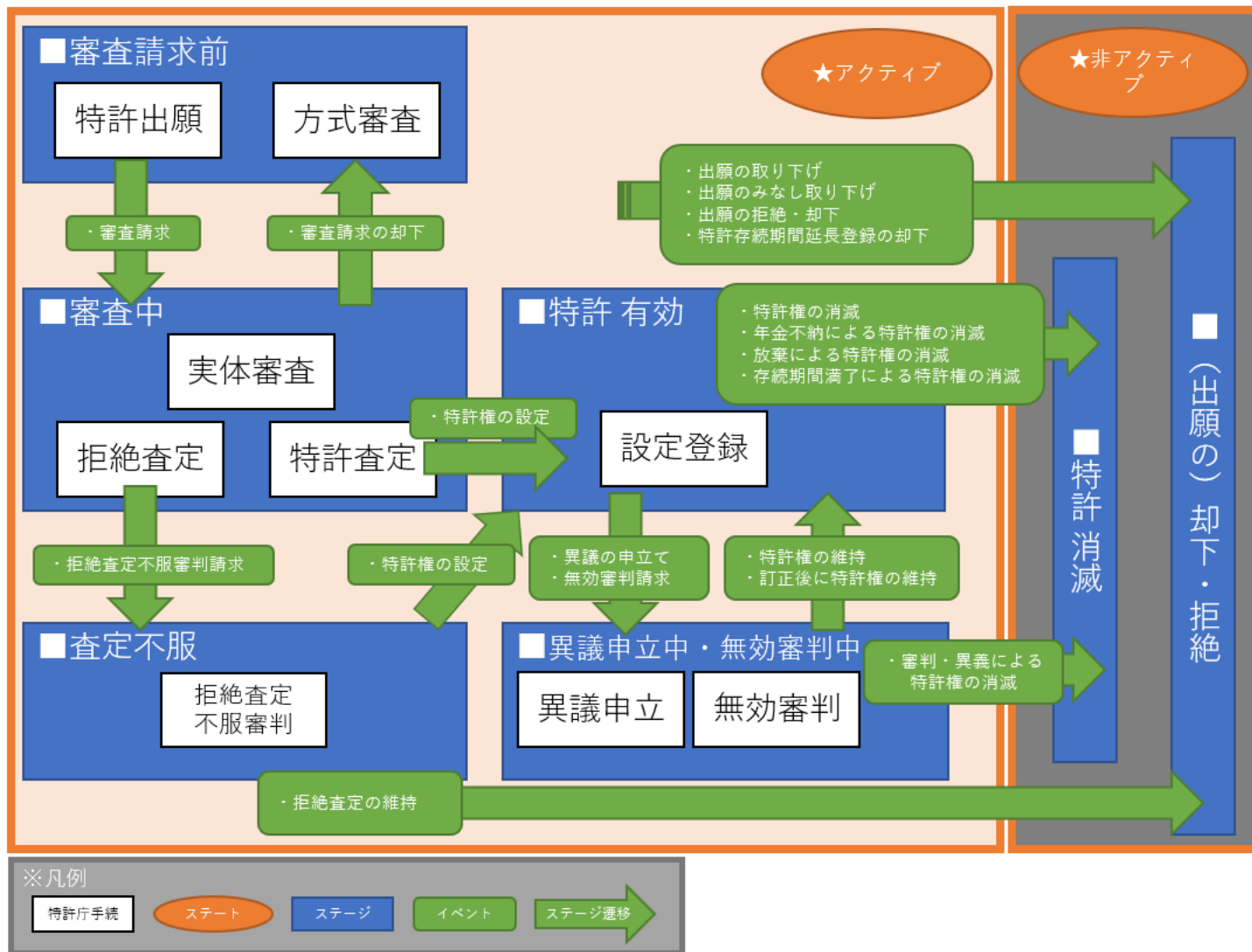
ステート遷移	ステージ遷移	イベント
アクティブ	審査請求前	国内出願
		PCT 出願
		国内書面の提出
		分割出願
		変更出願
		審査請求の却下
		国内出願（※延長登録出願）
		審査請求
		拒絶査定不服審判請求
		特許権の設定
非アクティブ	(出願の) 却下・拒絶	特許権の維持
		訂正後に特許権維持
		異議の申立て
		無効審判請求
		出願の取下げ
		出願のみなし取下げ
		出願の拒絶・却下
		特許存続期間延長登録の却下
		拒絶査定の維持
		特許権の消滅
	特許 消滅	審判・異議による特許権の消滅
		年金不納による特許権の消滅

		存続期間満了による特許権の消滅
		放棄による特許権の消滅
—	ステージ遷移無 (直前のステージを維持)	拒絶理由通知
		早期審査請求
		拒絶査定
		特許査定
		刊行物等提出書の提出
		特許存続期間延長登録の認容
		判定請求
		手続補正の却下
		手続補正
		訂正審判請求
		訂正審判請求の不成立
		訂正審判請求の成立
		誤訳訂正
		職権取消・訂正等
		訂正公報の発行
		公開公報の発行
		登録公報の発行
		出願人・権利者等の変更申請
		出願人・権利者等の氏名変更
		権利の移転
		出願人の変更
		代理人の変更
		出願人・権利者等データ変更申請の却下
		専用実施権の登録
		専用実施権の登録の変更
		専用実施権の登録の抹消
		質権の登録
		質権登録の変更
		質権登録の抹消
		期間延長の請求
		期間延長請求の却下
		期間延長請求の認容
		年金納付

■リーガルステータスにおける各ステージの説明

項番	ステージ	ステート (出願・権利存続)	説明	特許権の存在
1	審査請求前	アクティブ	特許出願～審査請求前までの段階、又は、審査請求が却下された段階。出願内容に対する実体審査はまだされていない。	無
2	審査中	アクティブ	審査請求～審査段階における特許査定又は拒絶査定までの段階。出願内容について、特許審査官による実体審査がなされている。	無
3	査定不服	アクティブ	拒絶査定不服審判請求がされ、拒絶査定不服審判請求が継続中の段階。	無
4	特許 有効	アクティブ	審査又は審判による特許査定後に特許権が設定登録されている段階。又は、特許異議申立の異議決定・無効審判の審決が確定し、特許権が維持されている段階。特許権が存在する。	有
5	異議申立中・ 無効審判中	アクティブ	特許異議申立中、又は、無効審判請求中の案件。特許権の存在は「有」である点に留意。	有
6	(出願の)却下・拒絶	非アクティブ	出願の取下げ、却下、拒絶査定の維持等により、特許庁に特許出願が係属しなくなった段階。	無
7	特許 消滅	非アクティブ	年金不納、放棄、存続期間満了、又は、審決により、特許権が消滅している段階。	無

■（参考）リーガルステータスのステージ遷移



■リーガルステータスの J-PlatPat での対象範囲

リーガルステータスに関する情報は、出願日が 1998 年 1 月 1 日以降の日本国特許庁への特許出願が対象となります。